

経 営 状 況 報 告 書

令和7年7月

(公財) 高松観光コンベンション・ビューロー

目 次

令和7年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの経営について

- I 令和7年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業計画書 . . . 1
- II 令和7年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー予算書 10

令和6年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの事業報告及び決算について

- I 令和6年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業報告書 . . 17
- II 令和6年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー決算書 28

※ この冊子は、再生紙を使用しています。

令和7年度

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの経営について

I 令和7年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業計画書

令和7年4月 1日から

令和8年3月31日まで

1 事業運営方針

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローは、観光客及びコンベンションの誘致、サンポート高松のにぎわい創出を中心に活動を行い、高松市及び香川県の経済活性化はもとより、国際会議観光都市・高松のイメージアップ、国際的知名度及び情報発信機能の向上に取り組んでいる。

コンベンション部門では、MICEの誘致・開催は、開催地域を中心に大きな経済波及効果を生み出すことからアジア諸国をはじめ国際MICE市場では熾烈な競争が繰り広げられる状況である。このような中、MICEにも活用できる施設としてあなぶきアリーナ香川（香川県立アリーナ）が加わり、これまで難しかった大規模MICEの誘致に、香川アリーナコンソーシアムを始め香川県MICE誘致推進協議会や関係団体と緊密に連携し、MICEビジネスの振興に取り組む。また、世界的なサステナビリティへの関心の高まりを受け、MICE誘致においても、主催者が開催都市を選定する際、都市のサステナビリティへの取組を重視する傾向がみられるため、サステナビリティの視点を取り入れブランド力の強化を目指す。

観光部門では、観光コンテンツの拡充やこれまで高松を訪れていなかった修学旅行客など、新たな需要に対応した取組を引き続き進めるとともに、2025年大阪・関西万博に向け、地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりへの取組等、県、市及び賛助会員と緊密に連携し、「安全・安心な旅」を提供できる受入環境の整備を図ることにより、これまで以上に他地域との差別化を図ることで、観光客の誘客に取り組む。また、都市交流事業等各種観光振興事業を引き続き推進するとともに、サンポート高松を拠点とした、にぎわい創出事業に、県、市及び関係者と連携して取り組んでいく。

このような方針のもと、引き続き、21世紀の基幹産業とも言われる観光・コンベンション事業を積極的に推進するため、次の事業を実施する。

(1) 国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

国際会議等の誘致の促進及び開催の円滑化等による国際観光の振興に関する法律に基づき、高松市は、国際会議観光都市に認定されていることから、本法律の目的を達するための国際会議等の推進を始め、全国大会等の誘致、支援等を通じ、地域経済の活性化及び文化の向上に寄与するコンベンションを推進する事業を実施する。

(2) コンベンション開催支援補助金交付事業

国際会議、全国大会等の誘致及び誘致支援を促進するため、開催支援補助金を交付する事業を実施する。

(3) 観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

観光は、地域経済の活性化、雇用の機会の増大等、地域経済のあらゆる領域にわたり、その発展に寄与するとともに、健康の増進、潤いのある豊かな生活環境の創造等を通じて市民生活の安定向上に貢献するものであることに加え、国内外の相互理解を増進するものである

ことから、高松市及び香川県の有する文化的、社会的、経済的特性をいかし、観光客の誘致や受入れを通じ、地域経済の活性化や国際相互理解の増進など、観光の振興に寄与する事業を実施する。

(4) 新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

高松市及び隣接自治体（岡山県玉野市を除く。以下「高松市等」という。）の新たな観光資源を掘り起こし、高松市等の新たな魅力の創造を図るため、これらを活用した企画開発、並びに利用者による情報発信を促す。

(5) サンポート高松のにぎわいを創出する事業

サンポート高松に、人、物、情報等を集めることにより、にぎわいを創出し、国際交流、情報化の推進及び産業の振興並びに都市機能の活性化を図る事業を実施する。

(6) 高松市及び香川県への旅行者の利便の増進並びに観光資源開発のための観光案内所の運営・管理の受託

高松市に来訪する旅行者に対し、観光案内その他旅行に関する情報提供等を行い、旅行者の利便の増進に資することを目的として設置された同施設について、旅行者が快適に高松市及び香川県の滞在を行えるよう情報提供を行うことは、当財団の公益目的事業の一環であるとともに、これに積極的に務めることで、高松市及び香川県のイメージアップにつながり、また、国籍や目的地の調査など新たな観光資源の開発に役立つことから、(公社)香川県観光協会からこれを受託し、管理運営する事業を実施する。

(7) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

2 具体的な事業計画内容

(1) 国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

ア コンベンション誘致事業

全国55か所の国際会議観光都市が認定され、世界はもとより、日本国内においても、国際会議等の誘致における都市間競争が激化している。このような状況の下、地域経済の発展のため積極的に誘致活動を展開する。

(ア) コンベンション主催団体等に対する誘致訪問

a 首都圏等主催事務局

(a) 開催情報収集及び開催支援情報発信のための活動

首都圏を中心とした主要地区（首都圏・関西等）の学術会議・大会本部・主要大学・旅行会社・企業等の主催事務局に対し誘致活動を行う。

(b) 有力主催者等へのトップセールス

開催決定が有力視される主催者への県・市・当財団理事クラスの訪問

b 四国内の大学

(a) 開催情報収集及び開催支援情報発信のための訪問

四国内の大学の主催者に、高松市で開催を検討いけだけのよう情報を発信し、開催件数の増加を図る。

訪問地：徳島・高知・愛媛の各大学

(イ) 地元主催者等に対する誘致訪問

県内の主催者等への訪問、大学等で出張MICE相談会を開催し、開催件数の増加

を図る。

訪問先：県内大学・学術会議・大会・組織団体・協会等の支部事務局

(ウ) 共同誘致事業

- a 地方都市コンベンション関連団体ワークショップ及び合同誘致事業
(新潟・松本・高松・郡山・びわこ・宇都宮・岐阜)
- b I M E (国際M I C Eエキスポ) への出展
- c V I S I T J A P A N トラベル&M I C Eマートへの出展
- d 5都市情報交換会(盛岡・金沢・するが・高松・鹿児島)
- e 中国四国コンベンション誘致推進協議会
- f 四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会
- g 香川県M I C E誘致推進協議会との連携

イ コンベンション誘致支援事業

高松市及び香川県でコンベンションの開催の意向がある団体等に対し、誘致手法に関する相談を始め、開催計画の提案や視察の受入れ、国際会議・企業コンベンション誘致支援事業等を行うことで、高松市及び香川県での開催を促す。

- (ア) 主催者等招請事業及び視察受入れ
- (イ) 開催企画書のテンプレート提供
- (ウ) 国際会議・企業コンベンション誘致支援事業

ウ コンベンション開催支援事業

高松市及び香川県で開催予定のコンベンション主催者に対し、コンベンション・コンシェルジュとして、各施設の会場手配、託児所設置などの利用調整、開催までのノウハウの提供、コンベンション運営スタッフの紹介(無料職業紹介事業)等を行い、主催者の開催を補助するとともに、参加者に対して、各種観光パンフレットなどの情報提供並びに利便性の向上を図る。

- (ア) コンベンション・コンシェルジュとして主催者支援
 - a 会場予約・施設利用調整等
 - b 行政など関係機関との調整(後援、メッセージ等)
 - c ユニークベニュー、アフターコンベンション等の提案
- (イ) コンベンション運営スタッフ紹介事業(無料職業紹介事業)
- (ウ) 観光パンフレットの提供等各種参加者支援
- (エ) 大型コンベンション開催に伴う各施設との連携強化

エ 広報宣伝事業

インターネットを活用した情報発信や専門誌等に対する広告及び、大会参加者向けの誘客プロモーション映像を活用することで、高松市及び香川県のコンベンション施設や支援制度を紹介し、コンベンションの開催及び参加率向上を促す。

- (ア) 団体、賛助会員に対する啓発・周知連携
- (イ) 専門誌等への広告
- (ウ) ホームページによる情報発信
- (エ) 参加者向け観光情報発信事業

オ コンベンション情報収集提供事業

誘致事業等により得られたデータを整理し、コンベンション開催予定表を作成し、広く一般に周知する。また、自らが、主催者や参加者にアンケート調査を行い、コンベンションがもたらす経済波及効果を試算し、公表する。くわえて、これまで蓄積した主催者情報及び大会情報データベースの活用など、コンベンション誘致活動をより一層効率的に実施できるよう努める。

(ア) 開催情報のデータ整備

(イ) 統計書作成・経済波及効果・アンケート調査の実施

(ウ) コンベンションカレンダーの作成と提供

(エ) あなぶきアリーナ香川で開催されるコンベンション、イベント等（大規模MICE）の情報提供

(オ) 日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）ビューロー部会への参加

(カ) 主催者情報・大会情報データベースの整備

(キ) GDS-indexを指標とするサステナビリティへの取組強化と情報発信

(ク) ブランドタグラインとロゴを活用したMICE誘致の取組

(2) コンベンション開催支援補助金交付事業

ア 国際会議等

国際会議等とは、学術、文化、技術等の向上発展を図ることを目的とする団体が主体となって開催する学術、文化、技術等の研究の発表若しくは討論のための国際的な会議、スポーツ大会又はこれらに準ずるものをいう。

(ア) 補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・対象地域 高松市又は近隣町（三木町、直島町及び綾川町の3町をいう。以下この号において同じ。）で開催されるもの
- ・県外参加者の延べ宿泊数（高松市又は近隣町に宿泊）が50泊以上あるもの
- ・全参加者のうち外国人参加者（海外から参加する外国人）の占める割合が20%以上のもの
- ・プログラム、抄録集等に当財団の補助事業であることを明記するもの
- ・主催者アンケート（1枚）、参加者アンケート（10枚）を提出するもの

(イ) 補助金額

補助金額は、次に掲げる項目の合算額とする。なお、補助金額は理事長が認める事業費の25%以内の額とする。

a 宿泊助成額

- ・県外参加者の延べ宿泊数×2,000円
- ・延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
- ・開催期間中及び前後泊を対象とする。
- ・最高限度額 500万円

b エクスカーション助成金

- ・大会等の主催者が計画し、実施する視察旅行で、高松市内の観光施設等を2か所以上訪問するもの
- ・賃借した台（隻）数に3万円を乗じた額又は賃借料の2分の1の額のどちらか低い方
- ・千円未満切捨て
- ・最高限度額 30万円

イ 国内大会・国内学会等

国内大会等とは、会議、集会、セミナー等をいう。また、国内学会とは学者により構成され、学術研究の向上発展を図ることを目的とする団体が主体となって開催する学術研究の発表若しくは討論のための会議、集会、セミナー又はこれに準ずるものをいう。

（ア）補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・対象地域 高松市又は近隣町で開催されるもの
- ・県外参加者の延べ宿泊数（高松市又は近隣町に宿泊）が100泊以上あるもの
- ・香川県を含む3県以上から参加があるもの
- ・プログラム、抄録集等に当財団の補助事業であることを明記するもの
- ・主催者アンケート（1枚）、参加者アンケート（10枚）を提出するもの

（イ）補助金額

補助金額は、次に掲げる項目の合算額とする。なお、補助金額は理事長が認める事業費の25%以内の額とする。

a 運営費助成額

- ・20万円。ただし、賛助会員の開催関係事業者のうち、3業種以上を利用したものに限る。

b 宿泊助成額

- ・県外参加者の延べ宿泊数×500円
- ・延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
- ・開催期間中及び前後泊を対象とする。
- ・千円未満切捨て
- ・全国規模 香川県を含む30都道府県以上からの参加又は県外参加者の延べ宿泊数が1,000泊以上あるもの
- ・その他規模 香川県を含む3県以上から参加があるもの
- ・最高限度額 全国規模180万円、その他規模80万円

c エクスカーション助成金

- ・ア（イ）bに同じ

ウ スポーツ大会

スポーツ大会とは、その大会が行う競技の振興及び発展を目的とする競技団体又はその下部組織が主催、共催、後援等を行う大会をいう。

（ア）補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・イ（ア）に同じ。ただし、対象地域は除く。

- ・対象地域 香川県内で開催されるもの

（イ）補助金額

補助金額は、次に掲げる項目の合算額とする。なお、補助金額は理事長が認める事業費の25%以内の額とする。

a 運営費助成額

- ・イ（イ）aに同じ

b 宿泊助成額

- ・イ（イ）bに同じ。ただし、最高限度額を除く。

- ・最高限度額 全国規模80万円、その他規模30万円

c エクスカーション助成金

- ・ア（イ）bに同じ

エ 合宿等

合宿等とは、各種競技団体、学校などが技術向上や交流等を目的に開催するスポーツや文化活動等、営利を目的としないものをいう。

（ア）補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・対象地域 香川県内で開催されるもの

- ・県外参加者の延べ宿泊数（高松市又は近隣町に宿泊）が100泊以上あるもの

- ・主催者アンケート（1枚）、参加者アンケート（10枚）を提出するもの

（イ）補助金額

補助金額は、次に掲げる額とする。

a 宿泊助成額

- ・県外参加者の延べ宿泊数×300円

- ・延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。

- ・開催期間中及び前後泊を対象とする。

- ・千円未満切捨て

- ・最高限度額 50万円

オ ア～エの補助要件等にかかわらず、次のいずれかに該当するものについては、補助金を交付しない。

- ・国又は地方公共団体が主催又は共催（名義共催は除く。）するもの

- ・高松市から補助金が交付されるもの

- ・宗教及び政治的活動を目的とするもの

- ・不特定多数の参加者から入場料を徴収するもの

- ・その他、理事長が不相当と認めるもの

(3) 観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

ア 観光客等誘致及び受入事業

県外に対しては、姉妹都市・交流都市との都市交流事業等を実施するとともに、国内観光旅行や教育旅行の誘致活動を実施する。国外に対しても、視察受入れや情報発信の強化を行うなど、香川県や高松市を始め、他の地域や団体とも連携し、訪日外国人旅行者の誘客に取り組む。また、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）来場者を、高松市に誘引するための取組を実施する。これら活動の効果を高めるため、国内外の旅行会社に対し、送客実績に応じた団体旅行助成金を交付することに加え、引き続き修学旅行に特化した助成金を交付する。

(ア) 国内観光客誘致事業

- a 都市交流事業（彦根市（姉妹城都市）・水戸市（親善都市）等）
- b 四国観光商談会（東京・大阪）
- c 首都圏を中心とした主要地区（首都圏・関西等）の旅行会社・企業等の主催事務局に対し誘致活動を行う。

(イ) 訪日外国人旅行者誘致事業

- a 旅行社及びメディア等招請事業
- b 訪日外国人旅行者誘致推進事業（観光商談会、情報発信等）

(ウ) 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に向けた事業

- a 観光庁地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり
- b 観光庁 地域観光新発見事業 誘致活動

令和6年度に採択を受けた本事業において開発された観光コンテンツを用いて、高松市への誘客を促進する。

- c JR西日本レールパス＋JTRWeb事業（高松版）の実走・商品化
- d 観光庁 地域観光魅力向上事業

観光庁が募集する、持続的に地方への誘客を促進することを目的する本事業に応募し、高松市の観光資源を活用した収益性が高く独自性・新規性のある観光コンテンツを開発する。

(エ) 団体旅行誘致事業助成金

高松市内及び三木町内の宿泊施設にそれぞれ1泊以上の宿泊を伴う募集型・受注型団体旅行商品（以下「団体旅行」という。）に対し、観光客の誘致拡大を目的に助成要件を満たす団体旅行に助成金を交付する。

(オ) 修学旅行誘致事業助成金

高松市内及び三木町内の宿泊施設にそれぞれ1泊以上の宿泊を伴う修学旅行に対し、誘致拡大を目的に助成要件を満たす修学旅行に助成金を交付する。

イ 観光イベント等振興事業

各種観光パンフレットの作成及び配布を始め、さぬき高松まつり等の地元観光イベントに参画することにより観光客の受入れ体制の充実を図るとともに、電動アシスト自転車の主要観光地への整備や手荷物の一時預かり等を行い、観光客の利便性の向上を図る。また、瀬戸内海を観光資源として捉え、魅力ある瀬戸内海クルーズを実施する民間事業者を支援することにより、瀬戸内海に面した優位性をいかした観光振興を図る。

- (ア) 観光パンフレット等作成
- (イ) さぬき高松まつり
- (ウ) 屋島山上初日来迎式
- (エ) 観光レンタサイクル（電動）事業（仏生山、塩江、八栗）
- (オ) 手ぶら観光推進事業
- (カ) 瀬戸内海サンセットクルーズ事業の支援

ウ 広報宣伝事業

高松市出身又は一定期間、居住及び活動した者で、観光振興に寄与することが期待される者を高松市観光大使として委嘱し、高松市の魅力をPRする事業のサポート、各種観光行事及び公的諸行事において観光宣伝を行う高松ゆめ大使・高松特別ゆめ大使事業、観光名刺の販売事業等各種事業を通じて、高松市の知名度アップやイメージアップを図る。

- (ア) 高松市観光大使事業
- (イ) 高松ゆめ大使・高松特別ゆめ大使事業
- (ウ) 観光名刺販売事業

エ 調査企画事業

高松市の観光振興を図るため、高松市単独ではなく、近隣県との連携が必要不可欠であることから、近隣県の関係機関と連携し、共同事業等の実施に向けた検討を行う。

- (ア) 四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会

(4) 新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

ア 着地型（募集型企画）旅行商品の造成・販売

地域経済の活性化に寄与するため、第3種旅行業の資格を活用し、着地型旅行（ぷち旅プラン）の企画及び実施を行う。また、身近な観光資源の掘り起こしや体験プログラムの開発に取り組むとともに、モデルコースの充実を図り、高松市民や香川県民といった「近場へ行く」個人客の誘客や他県からの団体旅行造成の促進に努める。

(5) サンポート高松のにぎわいを創出する事業

ア サンポートにぎわい創出事業

サンポート高松及びその周辺地域において、イベントを実施したい団体・企業等に対し、イベントに関する相談や実施に向けた協力、イベントを公募するなど、イベント件数や来場者の増加に寄与することで、サンポート高松のにぎわいを創出する。

- (ア) サンポート高松イベント大募集！事業
- (イ) イベント共催等開催支援事業

イ 広報宣伝事業

ホームページ、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）等によりサンポート高松のイメージアップや知名度向上を行う。

- (ア) ホームページ、SNS等を活用した情報提供事業
- (イ) サンポート高松を中心とした広告宣伝事業

ウ 調査企画事業

イベント等参加者に対する来場者アンケートの実施等サンポート高松のにぎわい創出に

必要な問題点の検討等を行う。

(6) 観光案内所（香川・高松ツーリストインフォメーション）の運営・管理の受託

（公社）香川県観光協会から本案内所の運営業務を受託し、高松市及び香川県内を主とした観光案内を行うほか、宿泊案内、周辺地域及び全国の観光案内、交通機関等の各種案内に関する情報を提供することにより、本県を訪れる観光客等の利便性の向上を図り、さらなる満足度を高めるとともに、観光客のニーズを的確に把握し、観光資源開発に活用する。

また、観光圏整備法第10条に基づく認定観光圏案内所への登録や、J N T O認定外国人観光案内所 カテゴリー3（常時英語による対応が可能。その上で、英語を除く2以上の言語での案内が常時可能な体制がある。全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。W i - f iあり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。）に登録されていることから、日本語のほか、3か国語に対応できるよう従事者を配置し、訪日外国人旅行者への対応を行う。

- ・場所 高松オルネ北館1階
- ・運営日 毎日（年中無休）
- ・開所時間 9：00～20：00
- ・対応言語 日本語・英語・中国語・韓国語

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

ア 各種会議の開催

- (ア) 評議員会
- (イ) 理事会
- (ウ) その他、評議員・役員に関すること

イ 賛助会員

- (ア) 賛助会員総会の開催
- (イ) 賛助会員交流会の開催
- (ウ) 賛助会員名簿等の整備
- (エ) 賛助会員加入促進
- (オ) その他賛助会員に関すること

ウ その他財団の必要なこと

- (ア) 経理業務
- (イ) 処務業務
- (ウ) 事務所維持管理
- (エ) インターネットを活用した広報及び情報提供
- (オ) 職員研修の実施
- (カ) 機関紙の発行
- (キ) その他

Ⅱ 令和7年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー予算書

1 収 支 予 算 書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	5,741	4,689	1,052	
(2) 会費収入				
賛助会員会費収入	6,000	6,000	0	
(3) 事業収入				
広告等収入	377	378	△1	
使用料収入	150	150	0	
参加料収入	600	600	0	
旅行商品販売収入	586	586	0	
物品等販売収入	1,135	1,135	0	
(4) 補助金等収入				
国庫補助金収入	5,600	0	5,600	
香川県補助金収入	9,970	9,570	400	
高松市補助金収入	86,104	86,104	0	
開催支援補助金事業収入	26,000	20,000	6,000	
(5) 受託事業収入				
受託事業収入	19,371	19,371	0	
(6) 特定資産運用収入				
退職給付引当金運用収入	1	1	0	
(7) 雑収入				
雑収入	200	200	0	
事業活動収入計	161,835	148,784	13,051	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費				
コンベンション推進事業費	13,602	13,651	△49	
開催支援補助金事業費	26,000	20,000	6,000	
観光客誘致事業費	11,256	9,776	1,480	
観光振興事業費	6,180	5,486	694	
旅行業事業費	1,257	1,257	0	
にぎわい創出事業費	3,745	2,981	764	
観光施設管理運営事業費	19,371	19,371	0	
人件費	42,074	37,715	4,359	
(2) 管理費				
役員報酬	5,042	4,974	68	
人件費	15,738	15,914	△176	
法人管理運営費	17,570	17,659	△89	
事業活動支出計	161,835	148,784	13,051	
事業活動収支差額	0	0	0	

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 退職給付引当預金積立収入	758	813	△55	
投資活動収入計	758	813	△55	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	758	813	△55	
Ⅲ 財務活動の部				
1. 財務活動収入				
(1) 借入金収入				
短期借入金収入	4,000	4,000	0	
財務活動収入計	4,000	4,000	0	
2. 財務活動支出				
(1) 借入金返済支出				
短期借入金返済支出	4,000	4,000	0	
(2) 退職給付引当金組戻支出	758	813	△55	
財務活動支出計	4,758	4,813	△55	
財務活動収支差額	△758	△813	55	
Ⅳ 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

２ 正 味 財 産 増 減 予 算 書

(令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日まで)

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	5,858	4,827	1,031
特定資産運用益			
退職給付引当金運用益	1	1	0
受取会費			
受取賛助会員会費	6,000	6,000	0
事業収入			
広告料収入	377	378	△1
使用料収入	150	150	0
参加料収入	600	600	0
旅行業販売収入	586	586	0
物品販売収入	1,135	1,135	0
受取補助金等			
受取国庫補助金	5,600	0	5,600
受取香川県補助金	9,970	9,570	400
受取高松市補助金	86,104	86,104	0
受取開催支援事業補助金	26,000	20,000	6,000
受託事業収入			
観光施設管理運営事業収入	19,371	19,371	0
雑収入			
雑収入	200	200	0
経常収益計	161,952	148,922	13,030
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	35,724	32,319	3,405
臨時雇賃金等	8,988	8,867	121
福利厚生費	6,511	5,740	771
会議費	274	274	0
旅費交通費	3,131	3,227	△96
報酬	851	761	90
報償費	1,225	1,141	84
通信運搬費	170	170	0
消耗品費	933	923	10
印刷製本費	4,018	3,468	550
賃借料	861	532	329
支払負担金	9,527	14,925	△5,398
支払補助金	29,775	23,775	6,000
広告宣伝費	1,235	1,211	24
委託料	13,659	6,436	7,223
仕入費	1,738	1,738	0
修繕費	44	44	0
保険料	11	11	0
租税公課	1,207	1,210	△3
諸会費	350	350	0
新聞図書費	164	55	109
支払手数料	76	180	△104
退職給付費用	271	229	42
雑費	94	94	0

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減
減価償却費	436	561	△125
賞与引当金繰入	2,662	2,502	160
管理費			
役員報酬	5,042	4,974	68
給料手当	9,660	9,749	△89
臨時雇賃金等	2,125	2,110	15
福利厚生費	2,643	2,649	△6
会議費	1,069	1,068	1
報酬	23	23	0
通信運搬費	1,667	1,632	35
消耗品費	659	713	△54
印刷製本費	530	530	0
賃借料	10,542	10,608	△66
諸会費	734	734	0
支払負担金	50	50	0
委託料	374	375	△1
光熱水費	1,200	1,200	0
修繕費	5	4	1
燃料費	80	100	△20
保険料	193	205	△12
租税公課	40	40	0
退職給付費用	487	584	△97
新聞図書費	74	107	△33
支払手数料	330	270	60
減価償却費	182	182	0
賞与引当金繰入	825	823	2
経常費用計	162,469	149,473	12,996
評価損益等調整前当期経常増減額	△517	△551	34
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△517	△551	34
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△517	△551	34
一般正味財産期首残高	3,896	6,975	△3,079
一般正味財産期末残高	3,379	6,424	△3,045
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益	0	△576	576
基本財産運用損益	365	138	227
一般正味財産への振替額	△117	△138	21
当期指定正味財産増減額	248	△576	824
指定正味財産期首残高	621,227	570,839	50,388
指定正味財産期末残高	621,475	570,263	51,212
III 正味財産期末残高	624,854	576,687	48,167

3 正味財産増減予算書(内訳表)

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：千円)

科目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公1 コンベンション	公2 開催支援補助	公3 観光客誘致等	公4 旅 行 業	公5 にぎわい創出	公6 観光案内所	共通		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益									
基本財産受取利息	341		341				5,176		5,858
特定資産運用益								1	1
退職給付引当金運用益									
受取会費									
受取賛助会員会費	2,000		2,000				2,000		6,000
事業収入									
広告料収入	80							297	377
使用料収入			150						150
参加料収入								600	600
旅行業販売収入				586					586
物品販売収入	590		545						1,135
受取補助金等									
受取国庫補助金			5,600						5,600
受取香川県補助金	4,385				1,835		3,750		9,970
受取高松市補助金	6,206		8,800	671	1,910		31,265	37,252	86,104
受取開催支援事業補助金		26,000							26,000
受託事業収入									
観光施設管理運営事業収入						19,371			19,371
雑収入									
雑収入								200	200
経常収益計	13,602	26,000	17,436	1,257	3,745	19,371	42,191	38,350	161,952
(2) 経常費用									
事業費									
給料手当						2,426	33,298		35,724
臨時雇賃金等						8,988			8,988
福利厚生費						654	5,857		6,511
会議費	42		231	1					274
旅費交通費	1,921		1,088			122			3,131
報酬			551		300				851
報償費			1,225						1,225
通信運搬費	92		4			74			170
消耗品費	665					268			933
印刷製本費	2,408		1,500		110				4,018
賃借料	487		364		10				861
支払負担金	5,939		388		3,200				9,527
支払補助金	150	26,000	3,575		50				29,775
広告宣伝費	700		460		75				1,235
委託料	110		7,256	759		5,534			13,659
仕入費	594		660	484					1,738
修繕費						44			44
保険料				11					11
租税公課						1,207			1,207
諸会費	300		50						350
新聞図書費	110					54			164
支払手数料			74	2					76
退職給付費用							271		271
雑費	84		10						94
減価償却費	161			275					436
賞与引当金繰入							2,662		2,662

(単位：千円)

科目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公 1 コンベンション	公 2 開催支援補助	公 3 観光客誘致等	公 4 旅 行 業	公 5 にぎわい創出	公 6 観光案内所	共通		
管理費									
役員報酬								5,042	5,042
給料手当								9,660	9,660
臨時雇賃金等								2,125	2,125
福利厚生費								2,643	2,643
会議費								1,069	1,069
報酬								23	23
通信運搬費								1,667	1,667
消耗品費								659	659
印刷製本費								530	530
賃借料								10,542	10,542
諸会費								734	734
支払負担金								50	50
委託料								374	374
光熱水費								1,200	1,200
修繕費								5	5
燃料費								80	80
保険料								193	193
租税公課								40	40
退職給付費用								487	487
新聞図書費								74	74
支払手数料								330	330
減価償却費								182	182
賞与引当金繰入								825	825
経常費用計	13,763	26,000	17,436	1,532	3,745	19,371	42,088	38,534	162,469
評価損益等調整前当期経常増減額	△161	0	0	△275	0	0	103	△184	△517
投資有価証券評価損益等								0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△161	0	0	△275	0	0	103	△184	△517
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益									0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常費用									
経常外費用									0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額									0
当期一般正味財産増減額	△161	0	0	△275	0	0	103	△184	△517
一般正味財産期首残高	837	14	363	3,821	14	0	△1,478	325	3,896
一般正味財産期末残高	676	14	363	3,546	14	0	△1,375	141	3,379
II 指定正味財産増減の部									
基本財産運用損益	△30		240				155		365
一般正味財産への振替額							△117		△117
当期指定正味財産増減額	△30	0	240	0	0	0	38	0	248
指定正味財産期首残高	187,445	0	189,908	0	0	0	243,874	0	621,227
指定正味財産期末残高	187,415	0	190,148	0	0	0	243,912	0	621,475
III 正味財産期末残高	188,091	14	190,511	3,546	14	0	242,537	141	624,854

4 資金調達及び設備投資の見込みについて

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

- 1 資金調達の見込みについて
当期中における借入の予定及び借入先等

借入の予定		なし	
事業番号	借入先	金額	使途

- 2 設備投資の見込みについて
当期中における重要な設備等（除却又は売却を含む。）の予定の有無

設備投資の予定		なし	
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の使途

令和6年度

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの事業報告及び決算について

I 令和6年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業報告書

令和6年4月 1日から

令和7年3月31日まで

1 概要

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローは、人・物・情報が活発に交流する個性と魅力ある都市づくりのため、観光客及びコンベンションの誘致を始め、観光とコンベンションを「有機的総合的」に展開し得る事業の取組を行ってきたほか、サンポート高松のにぎわい創出についても鋭意取組を進めてきた。

コンベンション部門では、MICE誘致の競争力強化に向け、学会本部や大学等に対しての誘致セールスの基本行動を徹底した。また、本年は、あなぶきアリーナ香川（香川県立アリーナ）の開業元年にあたり、香川県新県立体育館整備推進総室や香川県MICE誘致推進協議会と緊密に連携し、大規模MICEの振興にも取り組んだ。一方、共同誘致事業については、課題を洗い出すとともに、商談会等のあり方について積極的に提言を行うなど、改善にも努めた。くわえて、高松市と連携し、観光・イベントの視点から都市のサステナビリティへの取り組み度合いを可視化する評価プログラム「GDS-index」において国内1位を獲得するなどブランド力の強化につなげるとともに、持続可能なMICE開催都市として重点的に取り組むべき施策を見つける機会となるよう取り組んだ。

観光部門では、「やしまーる」を中心に屋島周辺に点在する観光資源を活用し、滞在時間や観光消費の拡大を図るなど、新たな需要に対応した取組を進め、訪日外国人旅行者の誘致においては、2025年大阪・関西万博に向け、伝統ある豊かな文化、歴史、食などの魅力を発信するとともに、県、市及び賛助会員と緊密に連携し、「安全・安心な旅」を提供できる受入環境の整備を図るなど、これまで以上に他地域との差別化を図ることで、観光客の誘客に取り組んだ。また、都市交流事業等各種観光振興事業を引き続き推進するとともに、サンポート高松を拠点とした、にぎわい創出事業に、県、市及び関係者と連携して取り組んだ。

具体的には、コンベンション推進、観光振興、サンポート高松のにぎわい創出など、関係機関・各種団体と連携を密にし、以下の諸事業を実施した。

(1) 国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

国際会議等の誘致の促進及び開催の円滑化等による国際観光の振興に関する法律に基づき、高松市は、国際会議観光都市に認定されていることから、本法律の目的を達するための国際会議等の推進を始め、全国大会等の誘致及び支援等を通じ、地域経済の活性化及び文化の向上に寄与するコンベンションを推進する事業を実施した。

(2) コンベンション開催支援補助金交付事業

国際会議や全国大会等の誘致及び誘致支援を促進するため、開催支援補助金を交付する事業を実施した。

(3) 観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

観光は、地域経済の活性化、雇用の機会の増大等、地域経済のあらゆる領域にわたり、その発展に寄与するとともに、健康の増進、潤いのある豊かな生活環境の創造等を通じて市民生活の安定向上に貢献するものであることに加え、国内外の相互理解を増進するものであることから、高松市及び香川県の有する文化的、社会的、経済的特性をいかし、観光

客の誘致や受入れを通じ、地域経済の活性化や国際相互理解の増進など、観光の振興に寄与する事業を実施した。

(4) 新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

高松市及び隣接自治体（岡山県玉野市を除く。以下「高松市等」という。）の新たな観光資源を掘り起こし、高松市等の新たな魅力の創造を図るため、これらを活用した企画開発、並びに利用者による情報発信を実施した。

(5) サポート高松のにぎわいを創出する事業

サポート高松に、人、物、情報等を集めることにより、にぎわいを創出し、国際交流、情報化の推進及び産業の振興並びに都市機能の活性化を図る事業を実施した。

(6) 高松市及び香川県への旅行者の利便の増進並びに観光資源開発のための観光案内所の運営・管理の受託

高松市に来訪する旅行者に対し、観光案内その他旅行に関する情報提供等を行い、旅行者の利便の増進に資することを目的として設置された同施設について、旅行者が快適に高松市や香川県での滞在を行えるよう情報提供を行うことは、当財団の公益目的事業の一環であるとともに、これに積極的に務めることで、高松市及び香川県のイメージアップにつながり、また、国籍や目的地の調査など新たな観光資源の開発に役立つことから、(公社)香川県観光協会からこれを受託し、管理運営する事業を実施した。

(7) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

2 事業の内容

(1) 国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

ア コンベンション誘致事業

現在、全国55か所の国際会議観光都市が選定され、世界はもとより、日本国内においても、国際会議等の誘致における都市間競争が激化している。このような状況の下、地域経済の発展のため積極的に誘致活動を展開した。

(ア) コンベンション主催団体等に対する誘致訪問

a 首都圏等主催事務局	12回	209団体
b 四国内の大学、専門学校等		13校

(イ) 地元主催者等に対する誘致訪問

a 県内における大会関係者などへの誘致訪問	随時	22団体
b 県・市立学校校長会での開催支援制度説明及びパンフレットの配布		4月

(ウ) 共同誘致事業

a 地方都市コンベンション関連団体合同誘致セミナー (新潟・郡山・宇都宮・松本・岐阜・びわこ・高松)	3回	東京
b I M E (国際M I C Eエキスポ) への出展	2月	東京
c 5都市情報交換会 (盛岡・金沢・するが・高松・鹿児島)	2月	東京
d 中国四国コンベンション誘致推進協議会	総会	7月 山口
	懇談会	12月 東京
e 四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会	8月	松山
	3月	高松
f 香川県M I C E誘致推進協議会との連携 ・誘致活動		3回

イ コンベンション誘致支援事業

高松市や香川県でコンベンションを開催する意向がある団体等に対し、誘致手法に関する相談、開催計画の提案及び視察の受入れを行った。また、国際会議・企業コンベンション誘致支援事業等を行うことで、高松市及び香川県での開催を促した。

- (ア) 主催者等招請事業及び視察受入れ 5回 15名受入れ
- (イ) 開催企画書のテンプレート提供 国際 7件
国内 4件
- (ウ) 国際会議・企業コンベンション誘致支援事業 3件

ウ コンベンション開催支援事業

大会主催者等に対し、コンベンション・コンシェルジュとして、準備から開催までのノウハウの提供や、コンベンション運営スタッフの紹介など、情報提供及び利便性の向上を図った。

- (ア) コンベンション・コンシェルジュとして主催者支援
 - a 会場予約・施設利用調整等
 - b 行政など関係機関との調整（後援、メッセージ等）
 - c ユニークベニュー、アフターコンベンション等の提案
- (イ) コンベンション運営スタッフ紹介事業（無料職業紹介事業）
- (ウ) 観光パンフレットの提供等各種参加者支援
- (エ) 大型コンベンション開催に伴う各施設との連携強化

エ 広報宣伝事業

インターネットを活用した情報発信や専門誌等に対する広告で、高松市や香川県のコンベンション施設や支援制度を紹介するとともに、全国大会等の参加者向けのプロモーション映像を発信することで、コンベンションの開催及び参加率向上に向けて取り組んだ。

- (ア) 団体、賛助会員に対する啓発・周知
- (イ) 専門誌等への広告 2回
- (ウ) ホームページの充実による情報発信の強化
- (エ) 大型コンベンション開催に伴う各施設との連携強化
- (オ) 参加者向け観光情報発信事業
 - ・高松MICE観光プロモーション映像の発信（YouTube）

約7,500回再生

オ コンベンション情報収集提供事業

誘致事業等により収集されたデータの整備や、コンベンション開催予定表の配布など、賛助会員等に対し情報提供を行った。また、大会主催者及び参加者にアンケート調査を行い、コンベンションがもたらす経済波及効果を試算し、公表した。くわえて、これまで蓄積した主催者情報及び大会情報データベースを活用し、コンベンション誘致活動をより一層効率的に実施できるよう努めた。

- (ア) 開催情報のデータ整備
- (イ) 統計書作成・経済波及効果・アンケート調査の実施 令和5年度 約51億円
- (ウ) コンベンションカレンダーの作成と提供

(エ) 日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー (J C C B) ビューロー部会への参加 7月 福山・12月 水戸

(オ) 主催者情報・大会情報データベースの整備

(カ) G D S - i n d e x を指標とするサステナビリティへの取組

66% (昨年度53%)

(キ) ブランドタグラインとロゴを活用したM I C E誘致の取組

(2) コンベンション開催支援補助金交付事業

ア 全国大会等開催補助金の交付 (() 内は昨年度実績)

国際会議等	10件	(4件)
国内学会	11件	(8件)
国内大会	14件	(9件)
スポーツ大会	15件	(17件)
合宿	21件	(17件)
計	71件	(55件)

(3) 観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

ア 観光客等誘致及び受入事業

県外に対しては、姉妹都市・交流都市との都市交流事業等を実施するとともに、国内観光旅行や教育旅行の誘致活動を実施した。国外に対しても、視察受入れや情報発信の強化を行うなど、香川県や高松市を始め、他の地域や団体とも連携し、訪日外国人旅行者の誘客に取り組んだ。また、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)来場者を、高松市に誘引するための取組を実施した。これら活動の効果を高めるため、国内外の旅行会社に対し、送客実績に応じた団体旅行助成金を交付することに加え、引き続き修学旅行に特化した助成金を交付した。

(ア) 国内観光客誘致事業

a 都市交流事業(彦根市(姉妹城都市)・水戸市(親善都市)等)

・姉妹城・親善都市と交流都市の観光と物産展 11月 彦根

・ひこねの城まつりパレード 11月 彦根

b 四国観光商談会 10月 大阪

10月 東京

(イ) 訪日外国人観光客誘致事業

a 訪日視察・取材受入事業 6件 36名

(ウ) 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)に向けた事業

a 観光庁 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり

b J R西日本レールパス+ J T R W e b事業(高松版)の推進

c かがわD X L a bを通じた事業

d 観光庁 地域観光新発見事業

(エ) 団体旅行誘致事業助成金

募集型・受注型団体旅行誘致促進事業助成金交付要綱を定め、次の募集型・受注型団体旅行に助成金を交付した。

【助成金交付実績】(()内は昨年実績)

上半期	42台	(39台)
下半期	35台	(33台)
計	77台	(72台)

(オ) 修学旅行誘致事業助成金

修学旅行誘致促進事業助成金交付要綱を定め、次の修学旅行に助成金を交付した。

【助成金交付実績】(()内は昨年実績)

上半期	5件	(6件)
下半期	5件	(5件)
計	10件	(11件)

イ 観光イベント等振興事業

各種観光パンフレットの作成及び配布を始め、さぬき高松まつり等の地元観光イベントへ参画するとともに、電動アシスト自転車の主要観光地での整備や手荷物の一時預かりを引き続き行い、観光客の利便性の向上を図った。くわえて、瀬戸内海を観光資源として捉え、魅力ある瀬戸内海クルージングを実施する民間事業者を支援することにより、瀬戸内海に面した優位性をいかした観光振興を図った。

(ア) 観光パンフレット等作成	さぬきうどん食べ歩きMAP
(イ) さぬき高松まつり	8月
(ウ) 屋島山上初日来迎式	中止
(エ) 観光レンタサイクル(電動)事業	530台
仏生山5台・塩江4台・八栗5台設置	
(オ) 手ぶら観光推進事業(JR高松駅前)	14,991件
(カ) 瀬戸内海クルージング事業の支援	5月～9月 6回 43名

ウ 広報宣伝事業

高松市出身又は一定期間、居住及び活動した者で、観光振興に寄与することが期待される者を高松市観光大使として委嘱し、高松市の魅力をPRする事業のサポート、各種観光行事及び公的諸行事において観光宣伝を行う高松ゆめ大使・高松特別ゆめ大使事業、観光名刺の販売事業など各種事業を通じて、高松市の知名度アップやイメージアップを図った。

(ア) 高松市観光大使事業	
a 研修会	11月 東京
b 新規委嘱者	4名
(イ) 高松ゆめ大使・高松特別ゆめ大使事業	出務回数 54件
・高松ゆめ大使	3名委嘱
・高松特別ゆめ大使(ことちゃん・ことみちゃん・うどん脳)	3体委嘱
(ウ) 観光名刺販売事業	

エ 調査企画事業

高松市の観光振興を図るため、高松市単独ではなく、近隣県との連携が必要不可欠であることから、関係機関で組織する懇談会等に参画し、共同事業等の実施に向けた検討を行った。

(ア) 四国地区観光情報交換会	8月 松山・3月 高松
-----------------	-------------

(4) 新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

ア 着地型（募集型企画）旅行商品の造成・販売

地域経済の活性化に寄与するため、第3種旅行業の資格を活用し、着地型旅行（ぶち旅プラン）の企画及び実施を行った。また、身近な観光資源の掘り起こしや体験プログラムの開発に取り組むとともに、モデルコースの充実に努めた。

商品造成 15本 156名

(5) サンポート高松のにぎわいを創出する事業

ア サンポート高松のにぎわい創出事業

サンポート高松において、イベントを実施したい民間団体・企業等に対し、イベント等に関する相談や実施に向けた協力、トラブルになりやすい警備や交通関係についてアドバイスを行うとともに、イベントアイデアを公募し、開催に向け支援するなど、関係諸団体と協力し、サンポート高松のにぎわい創出に努めた。また、高松港玉藻防波堤灯台（せとしるべ）の航路標識協力団体として指定を受けたことから、本灯台の維持管理等の活動を行った。

(ア) 民間団体等主催のイベント募集及び共催等開催支援事業

支援（共催）事業 14件

（うちイベントアイデア採択事業 11件）

(イ) ふれあいコンサート 3月

(ウ) 高松港玉藻防波堤灯台（せとしるべ）見学会 2回 32名

イ 広報宣伝事業

ホームページ等により、サンポート高松のイメージアップや知名度向上を図った。

(ア) ホームページを活用したイベント等の情報提供事業 14回

(イ) 情報誌等での広告宣伝事業 14回

ウ 調査企画事業

イベント等参加者に対する来場者アンケートの実施等サンポート高松のにぎわい創出に必要な問題点の検討等を行った。

(6) 観光案内所（香川・高松ツーリストインフォメーション）の運営・管理の受託

高松市及び香川県内を主とした観光案内を行うほか、宿泊案内、周辺地域及び全国の観光案内、交通機関等の各種案内に関する情報を提供することにより、本県を訪れる観光客等の利便性を図り、さらなる満足度を高めるとともに、観光客のニーズを的確に把握し、観光資源開発に活用した。

また、観光圏整備法第10条に基づく認定観光圏案内所への登録や、J N T O認定外国人観光案内所 カテゴリー3（常時英語による対応が可能。その上で、英語を除く2以上の言語での案内が常時可能な体制がある。全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。W i f iあり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。）に登録されていることから、日本語のほか、3か国語に対応できるよう従事者を配置し、訪日外国人旅行者への対応を行った。

- ・場 所 高松オルネ北館1階
- ・運 営 日 毎日（年中無休）
- ・開所時間 9：00～20：00

・対応言語 日本語・英語・中国語・韓国語

利用件数 82,416件(うち外国人 18,434件)

利用人数 65,234人(うち外国人 12,622人)

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

ア 各種会議の開催

(ア) 評議員会 4月 6月

(イ) 理事会 6月(2回) 9月 3月

(ウ) その他役員・評議員に関すること

イ 賛助会員

(ア) 賛助会員総会等の開催 総会 7月・交流会 2月

(イ) 賛助会員名簿等の整備

(ウ) 賛助会員加入促進

(エ) その他賛助会員に関すること

ウ その他財団の必要なこと

(ア) 経理業務

(イ) 処務業務

(ウ) 事務所維持管理

(エ) インターネットを活用した広報及び情報提供 205,933回

(オ) 職員研修の実施

(カ) 機関紙の発行

(キ) その他

本年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

3 評議員会に関する事項

事業報告及び決算の承認並びに評議員及び役員の選任等に関する事項

議案事項	件 名	提出年月日	決議・承認 年 月 日
(臨時)			
議案第 1 号	評議員の選任について	R 6. 4. 8	R 6. 4. 18
議案第 2 号	理事の選任について	R 6. 4. 8	R 6. 4. 18
(定時)			
議案第 3 号	令和 5 年度事業報告及び決算について	R 6. 6. 25	R 6. 6. 25
議案第 4 号	評議員の選任について	R 6. 6. 25	R 6. 6. 25
議案第 5 号	役員の選任について	R 6. 6. 25	R 6. 6. 25

4 評議員に関する事項

(1) 令和 7 年 3 月 3 1 日現在の評議員

役 職	氏 名	所属・役職名	就任年月日
評 議 員	今 西 照 章	(一社) 香川県バス協会専務理事	H27. 6. 9
評 議 員	右 川 俊 二	香川県信用組合理事長	R 4. 12. 5
評 議 員	内 海 英 樹	四国電力(株) 香川支店総務部長	R 5. 11. 30
評 議 員	大 橋 和 夫	高松信用金庫理事長	R 2. 12. 1
評 議 員	岡 田 孝 浩	香川県農業協同組合中央会代表理事常務	H26. 4. 18
評 議 員	香 川 英 子	さぬき麺業(株) 常務取締役	H25. 3. 26
評 議 員	川 崎 武 文	高松タクシー協会会長	R 5. 6. 21
評 議 員	河 田 悦 夫	高松琴平電気鉄道(株) 常務取締役	R 4. 12. 5
評 議 員	桑 嶋 貴 史	(株) 中央代表取締役社長	H13. 3. 26
評 議 員	菅 弘	(株) 百十四銀行常務執行役員	R 6. 6. 25
評 議 員	鈴 木 健 彦	(株) 高松三越代表取締役社長	R 5. 4. 28
評 議 員	竹 内 陽一郎	西日本放送(株) 取締役営業統括	R 4. 12. 5

役 職	氏 名	所属・役職名	就任年月日
評 議 員	多 田 仁	香川県交流推進部長	R 5. 4. 28
評 議 員	次 田 吉 治	高松市創造都市推進局長	R 6. 4. 18
評 議 員	九十九 太 治	(公社) 高松青年会議所直前理事長	R 6. 6. 25
評 議 員	徳 永 孝 明	高松ホテル旅館料理協同組合副理事長	H24. 4. 1
評 議 員	中 井 昭 暢	屋島山上観光協会会長	R 4. 12. 5
評 議 員	中 塚 年 樹	香川県ゴルフ協会常務理事	R 6. 6. 25
評 議 員	堀 川 満 弘	(一社) 小豆島観光協会会長	R 4. 6. 28
評 議 員	藪 内 由 佳	塩江温泉観光協会会長	R 6. 6. 25
評 議 員	山 崎 隆 之	香川大学経済学部教授	R 6. 6. 25
評 議 員	山 下 政 博	(株) 瀬戸内海放送マーケティング事業ユニット付マネジャー	R 6. 4. 18
評 議 員	吉 田 親 司	琴平町観光協会副会長	R 2. 6. 23

(2) 評議員の退任

役 職	氏 名	選任時の所属・役職名	退任年月日
評 議 員	中 川 昌 之	高松市創造都市推進局長	R 6. 4. 1
評 議 員	藤 澤 英 治	塩江温泉観光協会会長	R 6. 6. 25
評 議 員	原 直 行	香川大学経済学部学部長	R 6. 6. 25
評 議 員	金 本 英 明	(株) 百十四銀行取締役常務執行役員	R 6. 6. 25
評 議 員	吉 田 明 央	(公社) 高松青年会議所理事長	R 6. 6. 25

5 理事会に関する事項

事業報告及び決算並びに事業計画、予算の承認、諸規程の改廃等に関する事項

議案事項	件 名	提出年月日	決議・承認 年 月 日
(第1回)			
議案第1号	副理事長の互選について	R 6. 6. 4	R 6. 6. 4

議案事項	件 名	提出年月日	決議・承認 年 月 日
議案第 2 号	令和 5 年度事業報告及び決算（案）について	R 6. 6. 4	R 6. 6. 4
議案第 3 号	定時評議員会の開催について	R 6. 6. 4	R 6. 6. 4
(第 2 回)			
議案第 4 号	理事長・副理事長・専務理事の互選について	R 6. 6. 25	R 6. 6. 25
(第 3 回)			
議案第 5 号	令和 6 年度事業計画の変更及び予算の補正について	R 6. 8. 20	R 6. 9. 3
議案第 6 号	特定資産定期預金資金の利用について	R 6. 8. 20	R 6. 9. 3
議案第 7 号	処務規程の一部改正について	R 6. 8. 20	R 6. 9. 3
(第 4 回)			
議案第 8 号	令和 6 年度予算の補正について	R 7. 3. 25	R 7. 3. 25
議案第 9 号	令和 7 年度事業計画及び予算について	R 7. 3. 25	R 7. 3. 25
議案第10号	就業規程の一部改正について	R 7. 3. 25	R 7. 3. 25
議案第11号	育児・介護休業等に関する規程の一部改正について	R 7. 3. 25	R 7. 3. 25
議案第12号	理事の利益相反取引の承認について	R 7. 3. 25	R 7. 3. 25
議案第13号	臨時評議員会の開催について	R 7. 3. 25	R 7. 3. 25

6 役員に関する事項

(1) 令和 7 年 3 月 3 1 日現在の役員

役 職	氏 名	所属・役職名	就任年月日
理 事 長	古 川 康 造	高松中央商店街振興組合連合会理事長	H25. 6. 24
副 理 事 長	三 矢 昌 洋	高松ホテル旅館料理協同組合相談役	H 6. 9. 27
副 理 事 長	寺 川 隆 裕	四国旅客鉄道（株）取締役鉄道事業本部営業部長	R 6. 6. 25
副 理 事 長	横 関 則 夫	香川県理事（兼）交流推進部次長	R 4. 5. 12
副 理 事 長	高 本 牧 男	高松市創造都市推進局文化・観光・スポーツ部長	R 6. 4. 18
専 務 理 事	上 枝 直 樹	（公財）高松観光コンベンション・ビューロー専務理事	R 5. 4. 1

役 職	氏 名	所属・役職名	就任年月日
理 事	大 西 理 之	高松商工会議所事業推進部長	R 6. 6. 25
理 事	北 島 茂 俊	香川県社交飲食業生活衛生同業組合高松支部副支部長	H28. 6. 1
理 事	栗 原 盾	シンボルタワー開発（株）専務取締役	R 5. 6. 21
理 事	佐 藤 今日子	（公社）香川県観光協会専務理事	R 5. 4. 28
理 事	辻 田 浩 一	香川県ホテル協会会長	R 4. 6. 28
理 事	中 橋 健 史	日本航空（株）高松支店長	R 4. 12. 5
理 事	長 村 直 樹	（株）電通西日本高松支社長	R 4. 6. 28
理 事	野 田 勉	穴吹エンタープライズ（株）執行役員公民連携事業部長	R 2. 12. 1
理 事	濱 田 充	（株）J T B 四国エリア広域代表（兼）高松支店長	R 6. 4. 18
理 事	細 谷 昌 美	全日本空輸（株）高松支店長	R 5. 4. 28
理 事	松 村 英 幹	高松商運（株）代表取締役社長	H26. 5. 23
理 事	森 川 稔	セーラー広告（株）取締役第一営業局長	R 3. 6. 22
理 事	山 下 省 吾	（公財）高松市文化芸術財団常務理事	R 5. 4. 28
監 事	勝 丸 千 晶	公認会計士	H30. 6. 29
監 事	金 岡 紀 嘉	（株）香川銀行常務取締役	R 5. 11. 30

（２）役員の退任

役 職	氏 名	選任時の所属・役職名	退任年月日
理 事 長	佐 野 正	（株）ジェイアール四国企画代表取締役社長	R 6. 4. 1
副 理 事 長	次 田 吉 治	高松市創造都市推進局文化・観光・スポーツ部長	R 6. 4. 1
副 理 事 長	長 井 一 喜	高松商工会議所常務理事・事務局長	R 6. 6. 25
副 理 事 長	藤 本 聡	四国旅客鉄道（株）常務取締役営業部長	R 6. 6. 25

Ⅱ 令和6年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー決算書

1 収 支 計 算 書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
(1) 基本財産運用収入			
基本財産利息収入	4,689,000	6,675,470	△ 1,986,470
(2) 会費収入			
賛助会員会費収入	6,000,000	5,665,000	335,000
(3) 事業収入			
広告等収入	378,000	366,000	12,000
使用料収入	150,000	53,000	97,000
参加料収入	600,000	366,000	234,000
旅行商品販売収入	586,000	277,700	308,300
物品等販売収入	1,135,000	1,263,310	△ 128,310
(4) 補助金等収入			
国庫補助金収入	5,600,000	5,272,728	327,272
香川県補助金収入	9,570,000	9,007,384	562,616
高松市補助金収入	81,104,000	80,468,014	635,986
開催支援補助金事業収入	26,500,000	26,500,000	0
(5) 受託事業収入			
受託事業収入	19,371,000	18,104,789	1,266,211
(6) 特定資産運用収入			
退職給付引当金運用収入	1,000	544	456
(7) 雑収入			
雑収入	200,000	223,641	△ 23,641
事業活動収入計	155,884,000	154,243,580	1,640,420
2 事業活動支出			
(1) 事業費			
コンベンション推進事業費	12,969,000	12,968,775	225
開催支援補助金事業費	28,252,000	28,252,000	0
観光客誘致事業費	10,995,000	10,994,719	281
観光振興事業費	4,555,000	4,554,036	964
旅行業事業費	944,000	943,697	303
にぎわい創出事業費	2,832,000	2,831,067	933
観光施設管理運営事業費	18,628,000	18,104,789	523,211
人件費	38,162,000	38,161,301	699

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
(2) 管理費			
役員報酬	4,974,000	4,686,960	287,040
人件費	15,914,000	15,513,798	400,202
法人管理運営費	17,659,000	17,232,438	426,562
事業活動支出計	155,884,000	154,243,580	1,640,420
事業活動収支差額	0	0	0
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
(1) 退職給付引当預金積立収入	813,000	812,309	691
投資活動収入計	813,000	812,309	691
2 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	813,000	812,309	691
III 財務活動の部			
1 財務活動収入			
(1) 借入金収入			
短期借入金収入	4,000,000	0	4,000,000
財務活動収入計	4,000,000	0	4,000,000
2 財務活動支出			
(1) 借入金返済支出			
短期借入金返済支出	4,000,000	0	4,000,000
(2) 退職給付引当金組戻支出	813,000	812,309	691
財務活動支出計	4,813,000	812,309	4,000,691
財務活動収支差額	△ 813,000	△ 812,309	△ 691
IV 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、売掛金、未収金、買掛金、未払金、未払費用、前受金、預り金及び未払消費税を含めており、当期末の残高は、次項に記載のとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末金額	当期末金額
1 流動資産		
現金預金	16,680,442	8,095,622
売掛金	6,160	0
未収金	4,999,302	4,673,732
流動資産合計	21,685,904	12,769,354
1 流動負債		
買掛金	246,400	0
未払金	18,606,404	10,772,600
未払費用	183,564	173,762
前受金	195,500	197,600
預り金	1,782,465	961,632
未払消費税	671,571	663,760
流動負債合計	21,685,904	12,769,354
次期繰越収支差額	0	0

2 貸 借 対 照 表

(令和 7 年 3 月 3 1 日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	8,095,622	16,680,442	△ 8,584,820
売掛金	0	6,160	△ 6,160
未収金	4,673,732	4,999,302	△ 325,570
棚卸資産	1,709,611	974,235	735,376
流動資産合計	14,478,965	22,660,139	△ 8,181,174
2 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	19	18	1
定期預金	49,677,832	48,957,003	720,829
投資有価証券	568,539,755	572,568,305	△ 4,028,550
基本財産合計	618,217,606	621,525,326	△ 3,307,720
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	17,697,357	16,885,048	812,309
供託金	3,000,000	3,000,000	0
特定資産合計	20,697,357	19,885,048	812,309
(3) その他固定資産			
建物	320,745	355,113	△ 34,368
建物附属設備	58,911	69,955	△ 11,044
器具備品	1,693,466	2,390,707	△ 697,241
電話加入権	145,600	145,600	0
その他固定資産合計	2,218,722	2,961,375	△ 742,653
固定資産合計	641,133,685	644,371,749	△ 3,238,064
資産合計	655,612,650	667,031,888	△ 11,419,238
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	0	246,400	△ 246,400
未払金	10,772,600	18,606,404	△ 7,833,804
未払費用	173,762	183,564	△ 9,802
前受金	197,600	195,500	2,100
預り金	961,632	1,782,465	△ 820,833
賞与引当金	3,581,120	2,845,096	736,024
未払消費税	663,760	671,571	△ 7,811
流動負債合計	16,350,474	24,531,000	△ 8,180,526
2 固定負債			
退職給付引当金	17,697,357	16,885,048	812,309
固定負債合計	17,697,357	16,885,048	812,309
負債合計	34,047,831	41,416,048	△ 7,368,217

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
高松市出捐金	300,000,000	300,000,000	0
高松市基本財産積立金	91,906,000	91,906,000	0
香川県出捐金	150,000,000	150,000,000	0
民間団体寄付金	1,000,000	1,000,000	0
外貨建投資有価証券評価額等	74,765,606	78,073,326	△ 3,307,720
指定正味財産合計	617,671,606	620,979,326	△ 3,307,720
(うち基本財産への充当額)	(617,671,606)	(620,979,326)	(△ 3,307,720)
2 一般正味財産	3,893,213	4,636,514	△ 743,301
(うち基本財産への充当額)	(546,000)	(546,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
正味財産合計	621,564,819	625,615,840	△ 4,051,021
負債及び正味財産合計	655,612,650	667,031,888	△ 11,419,238

貸借対照表内訳表

(令和7年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	公益目的事業							法人会計	合計
	公1 コンベンション	公2 開催支援補助	公3 観光客誘致等	公4 旅 行 業	公5 にぎわい創出	公6 観光案内所	共通		
I 資産の部									
1 流動資産									
現金預金		4,398,582	197,600			2,533,738		965,702	8,095,622
未収金	279,910	1,661,864	1,238,929	10,768	93,070	159,220	307,417	922,554	4,673,732
棚卸資産	1,351,011		358,600						1,709,611
流動資産合計	1,630,921	6,060,446	1,795,129	10,768	93,070	2,692,958	307,417	1,888,256	14,478,965
2 固定資産									
(1) 基本財産									
普通預金	19								19
定期預金	5,198,919		50,063						49,677,832
投資有価証券	178,816,582		189,859,290						568,539,755
基本財産合計	184,015,520	0	189,909,353	0	0	0	244,292,733	0	618,217,606
(2) 特定資産									
退職給付引当資産								17,697,357	17,697,357
供託金				3,000,000					3,000,000
特定資産合計	0	0	0	3,000,000	0	0	0	17,697,357	20,697,357
(3) その他固定資産									
建物									
建物附属設備								320,745	320,745
器具備品	161,337		1	807,345	1			58,911	58,911
電話加入権	22,750	13,650	40,950	13,650	13,650		4,550	724,782	1,693,466
その他固定資産合計	184,087	13,650	40,951	820,995	13,651	0	4,550	36,400	145,600
固定資産合計	184,199,607	13,650	189,950,304	3,820,995	13,651	0	244,297,283	18,838,195	641,133,685
資産合計	185,830,528	6,074,096	191,745,433	3,831,763	106,721	2,692,958	244,604,700	20,726,451	655,612,650

(単位：円)

科 目	公益目的事業							法人会計	合計
	公1 コンベンション	公2 開催支援補助	公3 観光客誘致等	公4 旅 行 業	公5 にぎわい創出	公6 観光案内所	共通		
II 負債の部									
1 流動負債									
未払金	279,910	6,060,446	1,238,929	10,768	93,070	2,029,198	307,417	752,862	10,772,600
未払費用								173,762	173,762
前受金			197,600						197,600
預り金								961,632	961,632
賞与引当金								859,610	3,581,120
未払消費税									
流動負債合計	279,910	6,060,446	1,436,529	10,768	93,070	663,760	2,721,510		663,760
2 固定負債									
退職給付引当金								2,747,866	16,350,474
固定負債合計									
負債合計	0	0	0	0	0	0	0	17,697,357	17,697,357
	279,910	6,060,446	1,436,529	10,768	93,070	2,692,958	3,028,927	20,445,223	34,047,831
III 正味財産の部									
1 指定正味財産									
高松市出捐金	99,594,000		99,641,000				100,765,000		300,000,000
高松市基本財産積立金							91,906,000		91,906,000
香川県出捐金	50,000,000		50,000,000				50,000,000		150,000,000
民間団体寄付金	34,421,520		40,268,353				1,000,000		1,000,000
外貨建投資有価証券評価額等							75,733		74,765,606
指定正味財産合計	184,015,520	0	189,909,353	0	0	0	243,746,733	0	617,671,606
(うち基本財産への充当額)	(184,015,520)		(189,909,353)				(243,746,733)		(617,671,606)
2 一般正味財産	1,535,098	13,650	399,551	3,820,995	13,651	0	△ 2,170,960	281,228	3,893,213
(うち基本財産への充当額)				(3,000,000)			(546,000)		(546,000)
(うち特定資産への充当額)									(3,000,000)
正味財産合計	185,550,618	13,650	190,308,904	3,820,995	13,651	0	241,575,773	281,228	621,564,819
負債及び正味財産合計	185,830,528	6,074,096	191,745,433	3,831,763	106,721	2,692,958	244,604,700	20,726,451	655,612,650

3 正 味 財 産 増 減 計 算 書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	6,675,470	5,224,384	1,451,086
特定資産運用益			
退職給付資産運用益	544	510	34
受取会費			
賛助会員受取会費	5,665,000	5,760,000	△ 95,000
事業収入			
広告等収入	366,000	365,000	1,000
使用料収入	53,000	56,600	△ 3,600
参加料収入	366,000	414,000	△ 48,000
旅行業販売収入	277,700	188,500	89,200
物品等販売収入	1,263,310	1,417,110	△ 153,800
受取補助金			
受取国庫補助金	5,272,728	0	5,272,728
受取香川県補助金	9,007,384	9,570,000	△ 562,616
受取高松市補助金	80,468,014	76,866,216	3,601,798
受取開催支援事業補助金	26,500,000	19,280,666	7,219,334
受託事業収入			
観光施設管理運営事業収入	18,104,789	17,996,087	108,702
雑収入			
雑収入	223,641	143,708	79,933
経常収益計	154,243,580	137,282,781	16,960,799
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	33,520,993	26,506,673	7,014,320
福利厚生費	5,919,344	5,094,094	825,250
会議費	247,653	379,430	△ 131,777
旅費交通費	3,314,123	6,238,511	△ 2,924,388
報酬	557,551	577,980	△ 20,429
通信運搬費	38,644	160,742	△ 122,098
消耗品費	922,455	295,522	626,933
印刷製本費	2,523,884	3,934,590	△ 1,410,706
賃借料	560,792	552,374	8,418
支払負担金	9,852,490	12,463,555	△ 2,611,065
支払補助金	31,694,500	22,725,666	8,968,834
雑費	22,670	106,910	△ 84,240
広告宣伝費	425,850	1,039,414	△ 613,564
委託料	13,607,453	7,351,120	6,256,333
臨時雇賃金等	7,970,742	8,293,847	△ 323,105
仕入費	995,734	1,214,040	△ 218,306
人材派遣費	0	466,154	△ 466,154
報償費	200,640	1,456,596	△ 1,255,956

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
修繕費	0	49,500	△ 49,500
保険料	10,452	7,839	2,613
租税公課	1,121,460	1,041,171	80,289
退職給付費用	0	106,516	△ 106,516
支払手数料	135,723	122,806	12,917
新聞図書費	53,400	163,040	△ 109,640
諸会費	350,000	350,000	0
減価償却費	560,595	3,186,594	△ 2,625,999
賞与引当金繰入	2,721,510	2,028,455	693,055
管理費			
給料手当	9,536,866	9,463,920	72,946
福利厚生費	2,589,175	2,661,705	△ 72,530
会議費	1,046,140	777,505	268,635
旅費交通費	6,680	2,520	4,160
報酬	25,480	8,040	17,440
通信運搬費	1,127,092	1,182,419	△ 55,327
消耗品費	870,249	567,372	302,877
印刷製本費	426,294	370,711	55,583
賃借料	10,626,006	10,602,700	23,306
支払負担金	71,000	85,000	△ 14,000
雑費	20,000	0	20,000
委託料	434,720	449,900	△ 15,180
臨時雇賃金等	1,758,807	1,730,670	28,137
光熱水費	1,152,352	1,165,913	△ 13,561
役員報酬	4,686,960	4,687,400	△ 440
修繕費	4,840	3,300	1,540
燃料費	80,000	60,000	20,000
保険料	183,956	214,950	△ 30,994
租税公課	30,000	30,000	0
退職給付費用	812,309	580,443	231,866
支払手数料	236,070	158,945	77,125
備品購入費	86,329	43,370	42,959
新聞図書費	74,200	101,835	△ 27,635
諸会費	731,030	723,175	7,855
減価償却費	182,058	182,058	0
賞与引当金繰入	859,610	816,641	42,969
経常費用計	154,986,881	142,583,631	12,403,250
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 743,301	△ 5,300,850	4,557,549
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 743,301	△ 5,300,850	4,557,549

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 743,301	△ 5,300,850	4,557,549
一般正味財産期首残高	4,636,514	9,937,364	△ 5,300,850
一般正味財産期末残高	3,893,213	4,636,514	△ 743,301
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益	△ 3,413,331	32,209,109	△ 35,622,440
基本財産運用損益	243,611	1,478,045	△ 1,234,434
一般正味財産への振替額	△ 138,000	△ 5,820	△ 132,180
当期指定正味財産増減額	△ 3,307,720	33,681,334	△ 36,989,054
指定正味財産期首残高	620,979,326	587,297,992	33,681,334
指定正味財産期末残高	617,671,606	620,979,326	△ 3,307,720
III 正味財産期末残高	621,564,819	625,615,840	△ 4,051,021

正味財産増減計算書内訳表

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公1 コンベンション	公2 開催支援補助	公3 観光客誘致等	公4 旅 行 業	公5 にぎわい創出	公6 観光案内所	共通	
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益								
基本財産受取利息			721,719					6,675,470
特定資産運用益								
退職給付資産運用益							544	544
受取会費								
賛助会員受取会費	2,954,074							
事業収入			1,889,000					5,665,000
広告等収入								
使用料収入			53,000					366,000
参加料収入								53,000
旅行業販売収入				277,700				366,000
物品等販売収入								277,700
受取補助金	441,000		822,310					1,263,310
受取国庫補助金			5,272,728					5,272,728
受取香川県補助金	3,841,850				1,415,534			9,007,384
受取高松市補助金	3,841,851	1,752,000	6,789,998	665,997	1,415,533		36,477,011	80,468,014
受取開催支援事業補助金		26,500,000						26,500,000
受託事業収入								
観光施設管理運営事業収入						18,104,789		18,104,789
雑収入								
雑収入							223,641	223,641
経常収益計	12,968,775	28,252,000	15,548,755	943,697	2,831,067	18,104,789	38,161,301	154,243,580

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公 1 コンベンション	公 2 開催支援補助	公 3 観光客誘致等	公 4 旅 行 業	公 5 にぎわい創出	公 6 観光案内所	共通	
(2) 経常費用								
事業費								
給料手当	120,180		126,523		950	2,784,238	30,736,755	33,520,993
福利厚生費	2,449,013		749,680			523,253	5,396,091	5,919,344
会議費								247,653
旅費交通費	11,023		339,240		207,288	115,430		3,314,123
報酬	37,654		990					557,551
通信運搬費	744,389		16,870	550		160,646		38,644
消耗品費	1,445,675		990,000		88,209			922,455
印刷製本費	274,349		276,623		9,820			2,523,884
賃借料	6,025,190		1,427,300		2,400,000			560,792
支払負担金		28,252,000	3,392,500		50,000			9,852,490
支払補助金	19,670		3,000					31,694,500
雑費	321,782		29,268		74,800			22,670
広告宣伝費	55,000		7,429,673	759,000		5,363,780		425,850
委託料						7,970,742		13,607,453
臨時雇賃金等								7,970,742
仕入費	428,944		394,660	172,130				995,734
報償費			200,640	10,452				200,640
保険料								10,452
租税公課			4,000			1,117,460		1,121,460
支払手数料	37,350		80,968	1,565		15,840		135,723
新聞図書費						53,400		53,400
諸会費	300,000		50,000					350,000
減価償却費	285,999			274,596				560,595
賞与引当金繰入							2,721,510	2,721,510

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公 1 コンベンション	公 2 開催支援補助	公 3 観光客誘致等	公 4 旅 行 業	公 5 にぎわい創出	公 6 観光案内所	共通	
管理費								
給料手当							9,536,866	9,536,866
福利厚生費							2,589,175	2,589,175
会議費							1,046,140	1,046,140
旅費交通費							6,680	6,680
報酬							25,480	25,480
通信運搬費							1,127,092	1,127,092
消耗品費							870,249	870,249
印刷製本費							426,294	426,294
賃借料							10,626,006	10,626,006
支払負担金							71,000	71,000
雑費							20,000	20,000
委託料							434,720	434,720
臨時雇賃金等							1,758,807	1,758,807
光熱水費							1,152,352	1,152,352
役員報酬							4,686,960	4,686,960
修繕費							4,840	4,840
燃料費							80,000	80,000
保険料							183,956	183,956
租税公課							30,000	30,000
退職給付費用							812,309	812,309
支払手数料							236,070	236,070
備品購入費							86,329	86,329
新聞図書費							74,200	74,200
諸会費							731,030	731,030
減価償却費							182,058	182,058
賞与引当金繰入							859,610	859,610
経常費用計	12,556,218	28,252,000	15,511,935	1,218,293	2,831,067	18,104,789	38,854,356	154,986,881
評価損益等調整前当期経常増減額	412,557	0	36,820	△ 274,596	0	0	△ 693,055	△ 743,301
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	412,557	0	36,820	△ 274,596	0	0	△ 693,055	△ 743,301

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公 1 コンベンション	公 2 開催支援補助	公 3 観光客誘致等	公 4 旅 行 業	公 5 にぎわい創出	公 6 観光案内所	共通	
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
前期損益修正益								0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除去損								0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	412,557	0	36,820	△ 274,596	0	0	△ 693,055	△ 743,301
一般正味財産期首残高	1,122,541	13,650	362,731	4,095,591	13,651	0	△ 1,477,905	4,636,514
一般正味財産期末残高	1,535,098	13,650	399,551	3,820,995	13,651	0	△ 2,170,960	3,893,213
II 指定正味財産増減の部								
基本財産評価損益	△ 3,413,331							△ 3,413,331
基本財産運用損益	△ 46,618		240,685				49,544	243,611
一般正味財産への振替額							△ 138,000	△ 138,000
当期指定正味財産増減額	△ 3,459,949	0	240,685	0	0	0	△ 88,456	0
指定正味財産期首残高	187,475,469	0	189,668,668	0	0	0	243,835,189	620,979,326
指定正味財産期末残高	184,015,520	0	189,909,353	0	0	0	243,746,733	617,671,606
III 正味財産期末残高	185,550,618	13,650	190,308,904	3,820,995	13,651	0	241,575,773	621,564,819

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的債券については、償却原価法（定額法）により評価している。なお、外貨建債権については、外国通貨による償却額を期中平均相場により円換算した額としている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法により評価している。

(3) 引当金の計上基準について

・退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

・賞与引当金

職員に対して支給する賞与に充てるため、支給見込額に基づき当決算期に見合う額を計上している。

(4) 消費税及び地方消費税の処理について

税込方法によっている。

(5) 固定資産の減価償却の方法について

・有形固定資産

法人税法等に定める耐用年数に基づく定額法によっている。

・無形固定資産（ソフトウェア）

利用可能期間（5年）に基づく定額法によっている。

(6) 外貨建の資産及び負債について

外国通貨、外貨建金銭債権債務（外貨預金を含む。）、外貨建有価証券等については、子会社株式及び関連会社株式を除き、決算時の為替相場による円換算額を付している。決算時における換算によって生じた換算差額は、原則として、当期の為替差損益として処理している。

(7) リース取引の会計処理

所有権移転外ファイナンスリース取引のうち重要性の乏しい取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	18	804,562	804,561	19
定期預金	48,957,003	4,549,911	3,829,082	49,677,832
投資有価証券	572,568,305	50,191,449	54,219,999	568,539,755
小 計	621,525,326	55,545,922	58,853,642	618,217,606
特定資産				
退職給付引当資産	16,885,048	812,309	0	17,697,357
供託金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	19,885,048	812,309	0	20,697,357
合 計	641,410,374	56,358,231	58,853,642	638,914,963

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
普通預金	19	(19)	(0)	—
投資有価証券	568,539,755	(568,539,755)	(0)	—
定期預金	49,677,832	(49,131,832)	(546,000)	—
小 計	618,217,606	(617,671,606)	(546,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	17,697,357	—	—	(17,697,357)
供託金	3,000,000	—	(3,000,000)	—
小 計	20,697,357	—	(3,000,000)	(17,697,357)
合 計	638,914,963	(617,671,606)	(3,546,000)	(17,697,357)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（事務所間仕切）	652,968	332,223	320,745
建物附属設備（電気設備等）	165,672	106,762	58,910
建物附属設備（事務所簡易間仕切）	318,600	318,599	1
器具備品（給与ソフト（給与大臣NX Super））	205,899	102,949	102,950
器具備品（事務所ブラインド）	143,856	91,108	52,748
器具備品（全国大会等情報DB一式）	2,109,896	1,948,561	161,335
器具備品（旅行業予約管理システム）	1,177,000	588,500	588,500
器具備品（手ぶら観光カウンター）	980,640	539,351	441,289
器具備品（ワイヤレスガイドシステム一式）	391,960	173,115	218,845
器具備品（事務局LAN配線等設備一式）	234,238	106,443	127,795
器具備品（高松盆栽PRビデオ）	4,800,000	4,799,999	1
器具備品（高松MICE観光プロモ映像）	5,148,000	5,147,998	2
器具備品（サンポくん着ぐるみ）	810,000	809,999	1
電話加入権	145,600	0	145,600
合 計	17,284,329	15,065,607	2,218,722

5 満期保有目的債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国債			
第1257回国庫短期証券	49,911,477	49,892,950	△18,527
米国財務省中期証券	138,184,973	126,747,349	△11,437,624
地方債			
第432回大阪府公債	49,956,452	48,655,000	△1,301,452
第31回1号宮城県公募公債	50,008,349	49,975,000	△33,349
第406回大阪府公募公債	49,987,605	49,670,000	△317,605
第243回共同発行市場公募地方債	99,976,508	94,058,000	△5,918,508
政府保証債			
(株) 国際協力銀行政府保証外債	130,514,391	125,123,713	△5,390,678
合 計	568,539,755	544,122,012	△24,417,743

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
出捐金						
高松市出捐金	高松市	300,000,000			300,000,000	指定正味財産
香川県出捐金	香川県	150,000,000			150,000,000	指定正味財産
寄付金						
民間団体寄付金	高松タクシー協会	1,000,000			1,000,000	指定正味財産
補助金						
基本財産積立金	高松市	91,906,000			91,906,000	指定正味財産
高松市観光交流課 関係団体運営等補助金	高松市	0	106,968,014	106,968,014	0	流動資産
香川県サポート高松 にぎわい創出事業補助金	香川県	0	9,007,384	9,007,384	0	流動資産
観光庁地域観光新発見事業 補助金	観光庁	0	5,272,728	5,272,728	0	流動資産
合 計		542,906,000	121,248,126	121,248,126	542,906,000	

7 固定負債の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
固定負債				
退職給付引当金	16,885,048	812,309	0	17,697,357
合 計	16,885,048	812,309	0	17,697,357

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	138,000
合 計	138,000

附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の記載事項に同じ。

2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
流動負債					
賞与引当金	2,845,096	3,581,120	2,845,096		3,581,120
固定負債					
退職給付引当金	16,885,048	812,309	0		17,697,357
合 計	19,730,144	4,393,429	2,845,096	0	21,278,477

4 財 産 目 録

(令和7年3月31日現在)

(単位：円)

科目等	使用目的等	金額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金手許有高	運転資金として	0
普通預金 百十四銀行高松市役所支店（８９８）	同 上	961,632
普通預金 百十四銀行高松市役所支店（１１６）	同 上	5,209,799
普通預金 香川銀行本店	同 上	10,550
普通預金 四国労働金庫本店営業部	同 上	220
普通預金 高松信用金庫本店営業部	同 上	550
普通預金 香川県信用組合本店営業部	同 上	550
普通預金 みずほ銀行高松支店	同 上	430,206
普通預金 ゆうちょ銀行六三八支店	同 上	1,482,115
未収金 香川県ほか	未収補助金ほか	4,673,732
棚卸資産 観光名刺（台紙）	高松市の観光地の宣伝のため販売している	358,600
棚卸資産 コングレスバック	同 上	1,351,011
流動資産合計		14,478,965
2 固定資産		
（１）基本財産		
普通預金 みずほ銀行高松支店（USD）	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	19
定期預金 みずほ銀行高松支店（USD）	同 上	4,328,647
定期預金 百十四銀行高松市役所支店	同 上	10,000,000
定期預金 香川銀行本店	同 上	10,000,000
定期預金 高松信用金庫本店営業部	同 上	10,000,000
定期預金 香川県信用組合本店営業部	同 上	10,000,000
定期預金 四国労働金庫本店営業部	同 上	5,349,185
投資有価証券 第432回大阪府公債	同 上	49,956,452
投資有価証券 第31回1号宮城県公募公債	同 上	50,008,349
投資有価証券 第406回大阪府公募公債	同 上	49,987,605
投資有価証券 米国財務省中期証券	同 上	138,184,973
投資有価証券 （株）国際協力銀行政府保証外債	同 上	130,514,391
投資有価証券 第1257回国庫短期証券	同 上	49,911,477
投資有価証券 第243回共同発行市場公募地方債	同 上	99,976,508
基本財産合計		618,217,606
（２）特定資産		
退職給付引当資産		
定期預金 香川県農業協同組合本店	退職金の支払いに備えた引当資産	10,000,000
定期預金 大和ネクスト銀行ビシャモン支店	同 上	7,697,357
供託金		
第三種旅行業 高松法務局	旅行業法に基づく営業保証金	3,000,000
特定資産合計		20,697,357

(単位：円)

科目等		使用目的等	金額
(3) その他固定資産			
建物	事務所間仕切（軽量鉄骨壁）	公益目的保有財産であり、法人管理業務で使用する	320,745
建物附属設備	電気設備等	同 上	58,910
建物附属設備	事務所簡易間仕切	同 上	1
器具備品	給与ソフト（給与大臣NX Super）	同 上	102,950
器具備品	事務所遮光用ブラインド（金属製）	同 上	52,748
器具備品	事務局LAN配線等設備一式	同 上	127,795
器具備品	手ぶら観光受付カウンター	同 上	441,289
器具備品	全国大会等情報データベース一式	公益目的保有財産であり、公益目的事業で使用する	161,335
器具備品	旅行業予約管理システム	同 上	588,500
器具備品	ワイヤレスガイドシステム	同 上	218,845
器具備品	高松盆栽PRビデオ	同 上	1
器具備品	高松MICE観光プロモーション映像	同 上	2
器具備品	サンポくん着ぐるみ	同 上	1
電話加入権	事務所 2回線	公益目的保有財産であり、公益目的事業、法人管理業務で使用する	145,600
その他固定資産合計			2,218,722
固定資産合計			641,133,685
資産合計			655,612,650
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	高松市ほか	高松市補助金返納分ほか	10,772,600
未払費用	N T T 西日本ほか	販売目的以外の継続する役務の提供等の未払分	173,762
前受金		次年度分観光名刺販売代金	197,600
預り金	社会保険料本人負担分ほか		961,632
賞与引当金	当年度分	規程に基づく職員賞与の当期負担分	3,581,120
未払消費税	観光案内所運営受託事業	受託事業収益に含まれる消費税等	663,760
流動負債合計			16,350,474
2 固定負債			
退職給付引当金		退職金の支払いに備えた引当金	17,697,357
固定負債合計			17,697,357
負債合計			34,047,831
正味財産			621,564,819

監 査 報 告 書

令和7年5月14日

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー
理事長 古 川 康 造 殿

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー

監 事 勝 丸 千 晶 ㊟

監 事 金 岡 紀 嘉 ㊟

私たちは、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度における会計及び業務の監査を行いましたので、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類及び収支計算書の正確性を検討いたしました。
- (2) 事業報告については、理事会及びその他の会議に出席し、担当理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書それらの附属明細書及び財産目録、並びに収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、当法人の財務状況並びに収支の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書及び附属明細書の内容は真実であり、法令若しくは定款の規定に違反するが如き事実はないことを認めます。